

# 聖芳園だより

特集：写真で見る、聖芳園の在宅サービスのお仕事



## 【新しい年に向けて】

施設長 三木 千晶

新春の候、ますますお健やかに過ごしのことと、お慶び申し上げます。また日頃より聖芳園の運営につきまして格別のご配慮をいただき厚く感謝申し上げます。



さて、新型コロナウイルスへの対策においては、基本的な対応を粛々と継続していましたが、ホームページでもお知らせしていた通り昨年11月初旬から12月初旬にかけて特養で集団感染が起き大きなご心配をおかけいたしました。ご家族からは温かいお言葉をいただき感謝いたします。お元気だったショートステイご利用者が体調不良となり3日目に発症したところから始まり、累計入居者21名、職員9名が感染しました。症状は軽症な方がほとんどでしたが、99歳を筆頭に90代の入居者様が10名を超えており予断は許さない状態だったかと思えます。比較的現場は混乱せず協力しながら対応できたものの、複数の職員家族が感染し濃厚感染者として自宅待機で休務しなければならない時期が重なったこともあり、現場は激務だったと思われれます。

在宅では特に単身者等のお客様が、サービス事業所として本来業務の範囲を超えて対応しなければ、生命に直結する可能性があるため職員自身も負荷を抱えながら、何度も乗り越えてくれました。全職員が災害時並みの対応をよく頑張ってくれたと感謝であります。

8月に特養にケアワーカーとして入職したインドネシア人男性2名は、業務にも慣れ不規則勤務が始まりました。まじめな勤務態度で、笑顔で優しくお客様に話しかけてくれています。会話はスムーズで理解力もありますが、初めての雪国、漢字の難しさ、資格試験に向けての体制等課題はたくさん見えています。これからも一歩ずつ一緒に長く働ける仲間としてサポートしていきたいと考えています。

重度化するお客様の状況、国の示す介護報酬等の中、基本をていねいに行なうことの難しさはありながらも、利用者様にとって聖芳園のサービスを利用して良かったと感じてもらうことができ、職員にとっても安心して働きやすい職場であるように今後も体制・資源等を整えていきたいと考えています。これからも聖芳園への温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

寒さ厳しき折、みなさまのご自愛を心からお祈りしております。

## 写真で見る、年中行事あれこれ

新型コロナウイルス感染症の影響により、行事はまだまだ例年通りとまではいきませんが、季節を感じることに、普段の生活を維持するためにも、感染対策を講じながら、楽しむ時間を大切に行事や活動を行っています。

【スイーツデー・寿司昼食会・ビューティー・音楽療法・小外出・誕生日祝いなど】



## 外国人材受け入れプロジェクト

令和4年8月よりインドネシア、ジャワ島出身の男性2名と一緒に働いています。



アディさん（26歳）

以前、写真を撮る仕事をされていました。北広島の自然を撮ることが好きで、いつか野生動物を撮りたいと思っています。最近は豆から挽いたコーヒーを飲むことがマイブームです。



サイさん（26歳）

ピアノとギターが趣味で、利用者様の前でピアノ演奏と歌を披露し大好評でした。最近はアコースティックギターを購入、自宅であいみよんの曲を弾いています。

お二人は日本での仕事経験があり日本語が上手です。いつも笑顔で丁寧な声掛けで話しをされ、お客様からも人気があります。お客様の日々のご様子も細かく観察されており、ちょっとした変化にも気づくところは、介護経験がまだ少ないお二人ですが新人とは思えない仕事ぶりです。

「北海道での生活経験がなく、雪が降る寒い季節が不安でもありますが楽しみです」

「仕事は早く一人前になりたい」とお二人とも笑顔で話しています。



## 介護ロボット導入プロジェクト

よりよい介護サービスの提供を目指すために介護機材を導入しています。



### 【インカム】

インカムは、離れた場所からでも複数人で会話をすることができる機材です。

連絡の遅れや連絡漏れは、介護サービスの遅延や最悪の場合は介護事故にも繋がりがねません。インカムを導入することにより、細かい情報の伝達・共有が可能になり、引継ぎをスピーディーに行うことができるようになりました。



### 【タブレットでの介護記録】

私たちは、お客様の「ご様子」「食事・水分量」「排泄」等の日常を、毎日細かく記録しています。

これまでは、紙に記入し、パソコン入力をしていました。タブレットの導入によりリアルタイムに情報の入力・登録・管理を行うことができるようになり、作業工程を減らせて効率化が図れます。



「インカム」や「タブレットの導入」は、職員間の引継ぎや記録の効率化より、その時間をお客様へのケアサービスに当てることができます。

### 【眠りスキャン】

眠りスキャンは、深く眠れているのかを心拍数等を基にデータ化する機材です。昼夜逆転傾向のお客様や睡眠導入剤を使用されているお客様もいらっしゃいます。

「お客様の入眠されている様子をどのようにとらえたか」と「その情報を引き継ぐ相手側の職員の受け取り方」の差がどうしても生まれてしまいますが、目視だけでは分からない部分が具体的なデータとして判断することができるので、ケアサービスの質の向上が図れます。

機材の最大の機能を引き出すために、現在の業務の中でどのように使用することが最適かをプロジェクトメンバーで検討しています。また、職員全員が同じ方法で使用できるように丁寧に情報伝達を行っています。



## 【聖芳園在宅サービスについて】

在宅サービス係長  
笠原由美



学生時代、社会福祉実習で聖芳園に来ました。聖芳園がまだ西の里恵仁会病院の隣にある頃のことです。職員が明るく挨拶をしてくれ、実習中も親切・丁寧に対応してくれたことが今でも印象に残っています。その後、縁あって当時お世話になった聖芳園に勤務することになりましたが、今でもその時の印象は変わることはありません。顔ぶれが変わっても、明るさ、やさしさ、丁寧さは職員皆に受け継がれていっているのだと思います。

私が所属する「居宅介護支援ステーション」は、1階に事務所があり、他に「きた高齢者支援センター」、「デイサービスセンター」、「ヘルパーステーション」の3事業所が同じフロアにあります。それぞれの業務内容は別ですが、同じフロアにあることで職員皆の顔が見えやすく、相談しやすいという特徴があります。私が「〇〇についてどうなっていたっけ」とつぶやけば、ヘルパーステーションから「〇〇になってますよ」と返ってきます。

お客様の件で何か相談しなければならないことができた時も、すぐに各事業所で集まって相談することができます。コロナ禍で予測できないことが起きることもしばしばです。これまで経験したことのない出来事に、一人で、あるいは一つの事業所だけで解決方法を考えるのではなく、協力して考えられることはとても良いところだと思います。

「デイサービスセンター」は、入浴や食事のサービスはもちろんのこと、レクリエーションや個別リハビリにも力を入れております。脳トレーニングも職員が日々、頭をひねりながら問題を作成しています。「ヘルパーステーション」も、常にお客様に良いサービスを提供できるよう研修や実習を重ねております。生活支援から身体介護までどんな相談にも乗ることができるよう日々磨きをかけております。「きた高齢者支援センター」も、地域の方の相談窓口として、「居宅介護支援ステーション」は介護保険利用のお客様の相談対応に動いております。地域のお客様からも「近くに聖芳園があって安心だ」とお声をいただくことがあります。お客様がご自宅で安心して過ごすことができるよう、また地域の皆様の頼りになる事業所を目指して、よりいっそう頑張っていきたいと思います。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



デイサービス朝の迎え



ヘルパー打合せ



デイサービス地震訓練



### 【本日の訪問の予定、引継ぎ】

お客様が困らないよう、細部にわたり丁寧に引継ぎを行っています。



### 【ご自宅訪問へ出発】

事故に注意し、ご自宅へ訪問サービス提供の他、いつもとお変わりがないか体調を確認することも、大切な業務です。

## 特集：写真で見る、聖芳園の在宅サービス

## お客様の望む生活に寄り添うヘルパーのお仕事

ヘルパーの支援内容の一部を紹介いたします。

### 【調理支援】

お好みのメニューや病状に合わせたメニュー今日の食事と翌日分も作ることもあります。ご本人のできる事があれば、ヘルパーと一緒にいきます。現在は、コロナ感染対策と合わせて行っています。





### 【サービス担当者会議の出席】

介護保険サービスを使っている事業所の担当者が集まり、お客様がどんな生活を送りたいのか、どんなことに苦勞を感じているのかを利用者様やご家族に相談します。

お客様ができること、していることを尊重しながら、ヘルパーがすることを考え、サービス内容を決める場がサービス担当者会議です。

介護保険の更新の時や新たにサービスを利用するとき、お身体の状態や生活環境が変わった時などに自宅で開催します。



### 【病院受診同行】

おひとりでの受診が難しい方や付き添いが必要な方には、ヘルパーが同行することがあります  
担当医へ生活状況や体調などヘルパーより伝え  
体調維持、体調悪化の予防ができることができます

※おひとり暮らしの方や身体障がいがあり、家族の支援が出来ない方など利用ができます。



《ヘルパー青木千華》

聖芳園に入職し16年になります。ヘルパーひとすじです。

聖芳園のヘルパーステーションの魅力は、お互い助け合える関係性はピカイチ、笑いも絶えず仕事へのメリハリもあるところが魅力だと感じています。

高齢者福祉の仕事の魅力は、お客様とのやり取りや言葉を通して自分も人生勉強ができること、お客様からの「ありがとう」の言葉に充実感とやりがい、そして感謝しながら仕事ができることかなあ。

お休みの時は、キャンプ、読書、ネットフリックスや動画を見る事を楽しんでいます。特にキャンプで薪をくべながら、はぜる音を聞き、炎を見ながら過ごす時間が至福の時間です。

※ヘルパーの支援は生活に密着しているため、支援内容が多岐にわたります。おひとりおひとり状況が違いますので、困りごとの相談は担当ケアマネジャーか高齢者支援センターへご相談ください。



### 【レクリエーション】

感染対策をしながらお客様が楽しんでいただける内容を考えて行っています。楽しむだけではなく、体を動かす機能訓練とお客様同士の交流にもつながる大切な時間でもあります。

※サイコロで職員に勝てと書かれています

## 特集：写真で見る、聖芳園の在宅サービス

# お客様の望む生活に寄り添うデイサービスのお仕事

デイサービスセンターの支援内容の一部を紹介いたします。



### 【口腔機能訓練】

昼食前に口を動かし、かむ力、飲みこむ力、誤嚥予防のために看護師が行っています。

美味しく昼食を召し上がって頂くためにも大切です。

※ファイターズのきつねダンスではないですよ。



### 【食事介助】

おひとりで食事をとることが難しいお客様へ個別に食事の介助をさせていただきます。

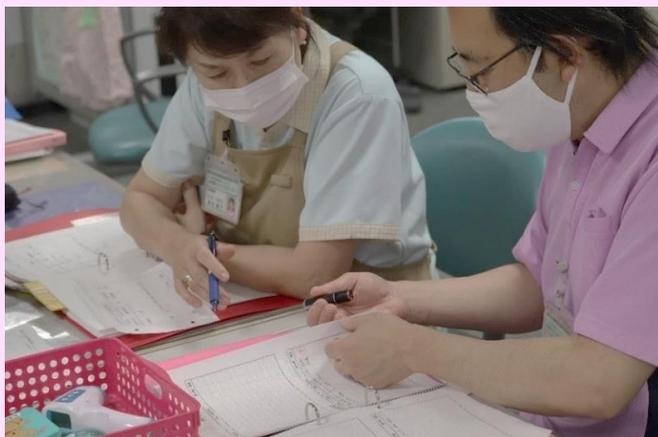
それぞれにあった食事形態や食事量を提供しています。

行事や季節に応じた食事も提供し食を楽しむことも大切にしています。



### 【朝のお迎え】

送迎はマイクロバスリフト付きとワゴン車で送迎をしています。  
お住いの地域やお身体の状態に合わせ対応しています。



### 【引継ぎ】

お客様の利用状況、引継ぎを行っています。

### 【浴室掃除】

毎日、快適に入浴をしていただくために、消毒、掃除をしています。

ご自宅で入浴が難しいお客様も沢山いらっしゃるので、清潔を保ちながら過ごせるようお手伝いしています。



《主任ケアワーカー木下麻子》

聖芳園に入職し20年になります。デイサービスひとすじです。聖芳園のデイサービスの魅力は職員みんなが元気！一番の魅力だと感じています。

高齢者福祉の仕事が続けられているのは、やっぱりお客様の笑顔。私もお客様の笑顔で沢山元気をもらい、助けてもらっています。お客様が帰られるときに「1日楽しかったよ」の言葉に疲れが取れるだけではなく、充実感を感じたり心が温かくなります。

お休みの日には、お買い物や家の掃除をしています。  
好きなことはお酒を飲むこと、仕事の後の一杯が特に好きです。

※デイサービスやヘルパーなど在宅サービスの利用については担当ケアマネジャーや高齢者支援センターにご相談ください

## 「アートは自由だ！展」が開催されました



北広島で初めて企画された美術展が市役所5階、市民ギャラリーで開催されました。聖芳園デイサービス利用の蠣崎様と高橋様が出品されました。蠣崎様が水彩、高橋様は色鉛筆で描いた風景画を出品し、多くの方が観に来てくださいました。活動内容が展示されたことは、お客様とご家族にとって大きな喜びと生きがいにつながったと思います。これからもこのような機会が増えることを願っています。

## 山羊さんが中庭に来ました



西の里きらきら保育園に山羊さんが来園されてお子さんたちが大喜びしたという情報を得ました。ぜひ聖芳園にも！とお願いしたところ、快諾いただき市内で学習塾オービットを経営されている小林先生宅で飼われている山羊さん（5頭）のえさ（敷地内の雑草等）を提供することになりました。

飼い主さんが敷地内で草刈りをして月に1回程度持っていかれることとなり、その間、杭につないだ山羊さんの姿を特養入居者・デイサービスのお客様に見ていただけることになりました。この日はお天気が良く、かわいい姿を見ることができました。

お母さまが20年以上前、聖芳園で勤務していたご縁もあり、素敵な繋がりができました。

## 公益事業

地域の皆様のご協力をいただきながら西の里虹サロンを開催しています。

今後も地域福祉事業者や地域ボランティア様と協働し気軽に集える機会を継続して参ります。

### 西の里虹サロン

地域の方が気軽に参加し、つどえる場として、地域のボランティア様とともに開催しております。近所に友達がほしい、お茶を飲みながら気軽に話したい方、楽しく体を動かし認知症予防をしたい、専門職に相談があるなど、どなたでも参加できます。

○日時：毎月第3土曜日 13時半から15時半

（現在は飲食を控え時間を短縮し開催しています）

○場所：西の里会館 集会室

○参加費 お茶菓子代 100円（行事などにより別途負担いただくことがあります）

○申し込み：不要 直接会場にお越しください



12月17日（土）に西の里会館でクリスマス会として、『BINGO 大会とお菓子バイキング』を開催し地域の皆様と一緒に楽しみました。これからも季節を感じられる企画をしていきますので、たくさんの方の参加をお待ちしております。

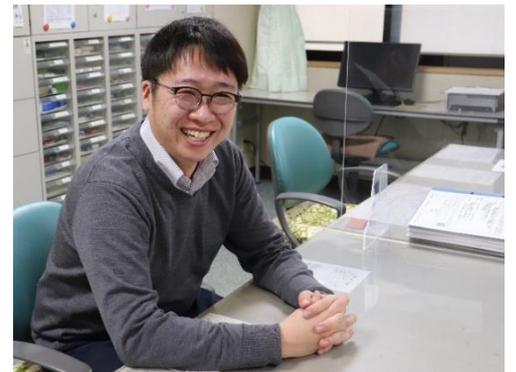
### きた高齢者支援センター

### 【生活支援コーディネーターを知っていますか】



きた高齢者支援センターには、生活支援コーディネーターが配置されています。

生活支援コーディネーターは高齢者目線での地域作りのお手伝いをしています。昨年は地域の皆様や星槎道都大学、介護保険事業所が協力し開設した「ふらっとカフェ」の運営支援を行いました。



地域の困りごとなどお気軽にご相談ください

（011-375-5888 久保田）



## 編集後記

私は年頭に今年の目標を立てました。①塩分、糖質を適度に控え、健康で爽やかに若々しく過ごす  
②お客様、職員、他関わる皆様に笑顔と癒しを ③生活と仕事、趣味活動に心地よい遊び心を  
この三大目標を掲げ2023年を柔らかく朗らかに過ごしたいと思います。

さて、聖芳園だよりはいかがだったでしょうか、今回は在宅サービスを写真とともに紹介いたしました。聖芳園の在宅サービスをより身近に感じていただけたら幸いです。

2023年が皆さまにとって、穏やかに過ごせるように願っています。

広報委員：松浦長武

※写真掲載にあたり、お客様ご家族様、事業者様よりご了解を得て作成致しました。



養護老人ホーム聖芳園／ショートステイ : (011) 375-3126  
聖芳園デイサービスセンター : (011) 375-5070  
聖芳園ホームヘルプステーション : (011) 375-5080  
聖芳園居宅介護支援ステーション : (011) 375-3245  
北広島市きた高齢者支援センター : (011) 375-5888

ホームページ：<http://www.seihoen.or.jp>

〒061-1102 北広島市西の里 347 番地4

